

2022年度 木曾青峰高校 定時制 学校関係者評価報告書

評価 A:よい B:おおむねよい C:不十分

総合評価			学校評議員記入欄	
			評価	コメント
<p>生徒の安心・安全な学校づくりをはじめ、5つの重点目標の実現を意識しながら、臨機応変に取り組むことができた。様々な課題に対して、そのつど職員全体で情報を共有し、生徒一人ひとりに丁寧に向き合う体制がとられた。</p> <p>大きな集団の中ではなかなか評価されにくい各生徒の特性が、強みとなって発揮できるような場として、さらに有効に機能するよう不断の努力を続けたい。今後も卒業後の社会生活を見据えて、つけたい力を全職員で共有し、教科指導・生徒支援・生徒会活動といったすべての学校生活の中で、意識してより細かい指導をしていくことが求められる。また校内のICT機器の利活用も積極的に進めたい。</p>			A	○コロナ禍、また多様性の時代に合わせて努力されていることが伺えました。
成果と課題	評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
			評価	コメント
<p>重点目標① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。</p> <p>【成果と課題】 多くの生徒は落ち着いた雰囲気、特に問題なく学校生活を送っている。精神的に不安定であるなど、必要と思われる生徒に対しては、専門家のカウンセリング等も利用しながら臨機応変に対応できているので、今後も継続的な対応、指導をしていきたい。また、スマートフォンの使用によるトラブル防止指導は、今後も継続的に取り組む必要がある。</p> <p>職員対象の非遵行為防止研修会により、体罰防止の意識も定着している。また生徒が安全に下校できるため、気象や交通の情報を把握し対応できた。</p>	A	<p>生徒同士が互いを尊重する雰囲気を継続できるよう、研修会や学習会などにより、コミュニケーション能力の向上や社会性の定着を目指すとともに、生徒のささいな変化にも気づけるよう、全職員が常に意識し、些細な事でも情報共有を徹底したい。</p> <p>ネットによるトラブルの防止のため、SNS、スマートフォンの講習を継続的に企画する。</p>	A	○ネット社会への対応が大変難しく、大変であると思われます。
<p>重点目標② 学習・生徒指導の両面から生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進し、社会に出てからも通用するような生きる力と豊かな感性をはぐくむ。</p> <p>【成果と課題】 面接等を通じて、生活面や学習面に対し、丁寧に生徒の相談に乗ることができた。学校での学習や経験が、アルバイト等で得た社会での生きる力を補完するものとなると良い。</p>	A	<p>基本的に毎日登校し、机に向かうという習慣形成を重視し、学習面、生活面ともに、生徒一人ひとりに対し、生徒の潜在能力を引き出すため、さらに根気強く指導を続けたい。</p> <p>生きる力につながる、生徒につけさせたい力を、全職員で共有し指導していく。</p>	A	○コロナ禍におけるアルバイトは可能であるのかをお聞きしたい。
<p>重点目標③ 生徒が希望する進路を実現するための基礎的な学力及びコミュニケーション能力を育み、社会的適応力を高める。</p> <p>【成果と課題】 様々な外部講師による講習会を実施したことにより、生徒自身普段と異なる刺激を受けることができ、生活態度の向上、社会への意識向上がみられた。</p> <p>コミュニケーション能力については、生徒ごとに差が大きいため、適応力が身につけにくい生徒の能力向上のための指導は難しい現状もある。</p>	A	<p>進学や就職等、外部からの情報をタイムリーに把握し、生徒への情報提供に努める。また学習面だけでなく、特別活動や清掃、ホームルーム活動を通して、生徒の能力を涵養する。</p> <p>就業支援やハローワークと連携し、企業訪問等の場を設けて個々の生徒に応じた指導をしていく。</p>	A	○コミュニケーション能力の低下を実感しており、対応に力を必要としていると思われます。

<p>重点目標④ さまざまな活動を通し、地域との連携と開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>【成果と課題】 定時制説明会等において、同時に授業公開を実施した。また、地域の保健師や支援員などとの支援会議や、意見交換の場を頻繁に持てた。</p> <p>今年度の校内生活体験発表会は生徒、職員その他、保護者と一部の来賓を招待して実施することができた。</p>	B	<p>地域の保健師や支援員などとの交流により、生徒へ多面的な指導ができるようになっていたので今後も継続したい。</p> <p>外部講師による出前授業等を実施し、生徒の普段と違う表情や積極性を見ることができたので、今後も感染症対策を講じながら、適切なタイミングで実施したい。</p>	A	<p>○地域との連携が充実していることで、経験の少ない生徒さんには、効果的であると思われました。</p>
<p>重点目標⑤ 「夢に挑戦する学び」への対応を進める。</p> <p>【成果と課題】 卒業後の進路や、自分に対しての自信につながるような、資格取得や、また自分の趣味や好きなことを、進路に活かせる可能性も考え、積極的に挑戦できる機会があれば良いと感じる。</p>	B	<p>生徒自身が自己の良さを認め、スモールステップの目標を持てるように支援する。さらに小さな達成感を積み重ねることでチャレンジする意欲を高めていくために、生徒、教員間で情報を共有し、生徒の挑戦心を支援していきたい。</p>	A	<p>○自己肯定感を高める活動がすばらしいと感じました。</p>

評価項目		評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
				評価	コメント
学習指導	授業内容（補充授業を含む）の充実と出席率の向上	A	各教科の教育目標を明確にし、生徒と共有するとともに、生徒の実態に応じた課題や教材の選定により、生徒の興味関心を引き、基礎学力の定着や出席率の向上をはかる。また魅力ある授業を目標に、ICT機器の活用を試みたい。	A	
進路指導	進路目標の明確化と進路実現	A	1、2年次から進路への意識付けをし、進路学習の機会を設定できると良い。2、3年次には、就労支援やハローワーク等によるガイダンス、説明会、企業見学等を実施し、遅くとも3年の冬までには進路の方向を見据えられるように、早めの情報提供と、具体的な進路指導を開始できるような支援が必要と思われる。また4年次の面接等の指導には、今後も担任だけでなく全職員で指導にあたる。	A	
	キャリア教育の推進	B	生徒が長期的展望で自分らしく生きていくことができるよう、自己有用感を育む学びを意識する。また地元の産業にも光をあてるような取り組みを考えていきたい。	A	○地元の産業に、資格を取り働く事も大事です。 ○キャリア教育の実際を知りたいと思いました。
自主活動	クラブ・生徒会活動等自主活動の活性化	B	実現可能な企画力や計画性を身につけるために、目的や重要なポイントだけでも意見共有できる話し合いを実施することが大切である。また係を中心に職員全員でサポートすることができたので、今後も生徒が企画運営できるよう生徒の意見を尊重しながら、全員で支援する。	B	

生活指導	基本的社会性を持った人間の育成	B	<p>社会性を身に付ける為には、まずは規則正しい生活習慣が大切であるため、時間を守ること、必ず連絡、報告をすること、清掃などにしっかりと取り組むことなどを生徒・職員共に意識し、家庭と協力しながら、継続的な指導が必要である。</p> <p>ゲーム・スマホ等により、昼夜逆転をしている生徒が多い上に、SNSやゲームのオンライン化により、姿の見えない第三者に生活リズムを崩されるなどの悪影響が出たため、なぜそれが危険なのかということを理解させるうえで、職員・生徒・保護者間の意見・情報交換により、他者との意識のズレを自覚する機会が必要だと思われる。</p>	B	<p>○家庭対応だけでは無理と思われるので、学校指導は是非お願いしたい。</p> <p>○木曾を支えた高校ですので、母校に自信を持つ事を教育して下さいませ。</p> <p>○SNSの使用方法についての指導の徹底。</p> <p>○ネットによる悪影響への対応に苦慮されていると実感しました。</p>
	全職員による生徒の状況把握 (情報の共有)	A	日頃から綿密にコミュニケーションをとることができる環境であるため、今後も常に生徒情報を共有できる状態を継続したい。	A	
	相談体制の充実発展	A	SC、SSWの有効活用や保健師との連携など、よくできているので今後も継続する。また誰にでも相談できる雰囲気やアセス後の全員面談も継続したい。	A	
	家庭・地域社会との連携	A	家庭内の異変を早期に感じ取り、今後も自治体や行政・福祉等、関係機関と情報共有していく必要がある。また生徒の卒業後も見据え、地域と連携を続ける。	A	
学校運営	緊急時保護者への連絡体制の完備	A	体制は確立しているので、不測の事態に備えて、普段からシミュレーションをしておく必要がある。また日頃より保護者と連絡を密にとる。	A	
	学校ホームページ・パンフレットの充実	B	時宜を捉えて、適切に公開・更新することができたが、行事ごとのホームページの更新のさらなる充実を目指したい。	A	
	授業等の公開	B	年間行事計画に沿って2回の公開授業に加え、希望する中学生にも授業を公開できた。今後も継続したい。	A	